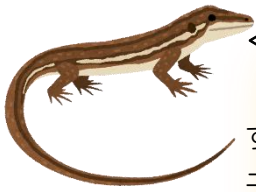


さくら組では、メダカ、カナヘビ、カタツムリを子どもたちと育てています！



<カナヘビ>

先日、等覚寺へ散歩に出かけたとき、カナヘビを発見！捕まえようとするのですが、カナヘビの素早さになかなか捕まえることのできない子どもたち。何度も搜索してついに捕まえることができ、さくら組に仲間入りしました。

初めは怖くて触ることもできなかった子どもたちでしたが、一緒に過ごす時間が経つにつれ、少しずつ触れるようになってきました。尻尾を握って触っていた子たちも、カナヘビについての紙芝居や、保育者からの声掛けを通して、尻尾を持つとちぎれてしまうことを知りました。すると自然と「優しくしなきゃだめだよ！」「顔からそっと持つんだよ。」などの声が聞かれ、カナヘビへの扱いが優しくなり、少しずつ慣れてきました。今では腕に乗せることも、おてのものです！園庭に出れば、カナヘビの餌探しに大忙しの子どもたち。先日、カナヘビの卵も産まれ、子どもたちはカナヘビに興味津々です！



カナヘビのお家も子どもたちと作りました。



カナヘビが卵を産みました！



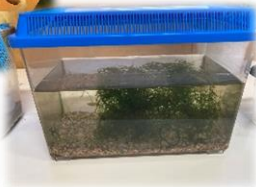
さくら組の生き物コーナーです！



<メダカ>

毎朝、登園したらメダカの餌をあげることが子どもたちの仕事です。餌をあげると食べる様子をじっと見つめ、「たくさん食べてるね～。」「お腹すいてたのかな？」など子ども同士で話す姿が見られます。

毎日見ているからか、少しの変化にすぐ気づき、「お水少なくなってきたね。」「なんかお水汚れてきたよ。」と保育者に訴える子どもたち。すぐに園庭に出て、メダカ的水槽を洗い、水替えをします。子どもたちと一緒にメダカ的水槽を綺麗にすると、「よかったね～」とメダカに話しかける姿がとても可愛らしいですよ♡



<カタツムリ>

保育者がカタツムリを見つけ、保育室に持ってきました。するとカタツムリの歌を歌ったり、「でんでんむしだー！」と友だちと話したりして喜ぶ姿が見られました。給食室に行き、カタツムリの餌をもらおうと、嬉しそうに飼育ケースに入れて眺める子どもたち。ですが、先日「カタツムリさんのお家に帰してあげよう。」と園庭のアジサイの葉っぱに戻してあげました。子どもたちはカタツムリに手を振って、「また会おうね！」と声をかける可愛らしい姿が見られましたよ。



☆おねがい☆

- 持ち物には、わかりやすく全てに記名をお願いします。
- トイレで排泄した後、ハンカチで手を拭きます。毎日ポケットにハンカチを入れてきてください。
- これから気温が高くなってるので、水筒のお茶はたっぷり入れてきてください。

